

インターネットと人権

～忘れないで！画面の向こうに人がいること～



インターネットを使うとき、
こんなことをしていませんか？

- 匿名だから何を書き込んでもいいと思っていませんか？
- 悪口や差別的な書き込みはしていませんか？
- うそやうわさを書き込んでいませんか？
- 暴力的な言葉を書き込んでいませんか？
- 安易に自分の写真や情報を載せていませんか？
- 知り合いの住所やメールアドレスを無断で書き込んでいませんか？
- 心当たりのないメールに返信していませんか？
- チェーンメールを転送していませんか？
- 出会い系サイトにアクセスしていませんか？
- ID、パスワードの管理をいいかげんにしていませんか？
- よく確認しないまま、添付ファイルを開いていませんか？
- インターネット上の情報をうのみにしていますか？
- SNSで知り合った人と1人で会おうとしていませんか？
- フィルタリングなしでインターネットを利用していませんか？



その行為には
危険がひそんで
いるかも



正しいルールと知識を身につけ、
人権尊重意識をもってインターネットを
利用しましょう。



インターネットは情報の収集や発信、コミュニケーションの手段として私たちの生活を便利なものにしていますが、その一方で、インターネットによる人権侵害が、今、大きな社会問題となっています。

このようなインターネットによる人権侵害は許されない行為です。

使い方を間違えると 大変なことに！

インターネットは、匿名で簡単に情報発信できたり、瞬時に情報を世界中に伝えられたりするなどの特長があり、便利な一方で、インターネットを悪用した人権侵害も毎年数多く発生しています。使い方を間違えると、人の心を傷つける「凶器」にもなり、使い方次第で、「加害者」にも、「被害者」にもなるおそれがあるのです。



ネット被害から自分を守るために

私たちの生活を便利で豊かなものにしてくれるインターネットですが、使い方についての知識やモラルが不十分だと、思わぬトラブルに巻き込まれたり、人権侵害を受けたりする可能性があります。また、メールや掲示板などに一度掲載した情報については、完全に削除することが難しいので十分注意しましょう。

最近では、SNSや無料通信アプリによるトラブルが発生しており、深刻な事件につながることもあります。日頃から、ネット上での情報収集や情報発信には責任を持ち、怪しいサイトにはアクセスしないなど、自分から危険に近づかないようにすることが大切です。



ネットで相手を傷つけないために

ネットの向こう側にもあなたと同じ人間がいます。ネット上の匿名性などを悪用し、相手を傷つけるような書き込みは許されません。匿名の書き込みも、調査をすれば、発信者を特定することができですし、罪に問われることもあるのです。また、メールやブログ、コミュニティサイトなどへの何気ない書き込みが相手を傷つけ、取り返しのつかない事態を引き起こしかねません。

顔が見えないからこそ、相手の人権を尊重することを忘れず、配慮を持ってインターネットを利用しましょう。



相手のことを考えて！

使用する言葉に注意！
暴力的な言葉はゼッタイNG！



根拠のないうわさ話は、載せない！



他人の書き込みを“あおる”書き込みをしない！



他人の悪口や差別的な内容は書き込まない！



雑誌や書籍に載っているマンガ、写真、記事などを勝手に掲載しない！



人が写っている写真や動画は勝手に掲載しない！

※写真によっては位置情報を悪用される場合もあるので掲載注意。
※GPS機能も含め、複数の情報をつなぎ合わせると個人を特定できる場合があるので要注意。



チェーンメールは転送しない！



【インターネットによる人権侵害(差別書き込み)情報提供窓口】

- 鳴門市教育委員会 生涯学習人権課 ☎ 088-686-8803
- 鳴門市健康福祉部 人権推進課 ☎ 088-684-1148

※平日8:30～17:15 市民の皆様からの電話による情報提供を受け付けております。